

政治における態度

クロダインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

為政は至心を経て、成るものである。私心において、失うものである。

これは世界を得ることにおいても等しい。私心は、自己を入れるだけであり、世界を入れることができないのである。

これが天下を取る正しい理解なのである。

人々への奉仕は世界を豊かにする。これら自己の理念は世界との対等な自己を与えるのである。

崇高な理念は、自己を離れ、理想における世界の迎合を与える。これが未来の創造である。

私欲は世界を奪うのみであり、与える事はできないのである。

優れた人材は必ずこれら共通点を有する。それら人材が世界を有し未来を行うのである。

これら双極性は相違性をなし、決定は人々において終えられる。

戦いは義においてある。そこに勝利と敗北があるのである。

ゆえに私心は、虚飾を経て失い、義は、義において世界を有する。

